

役立てたいと念願しております。まだ研究段階のため、あなた自身の治療に関しては、利益はありません。しかし、不利益もありません。

5 実施費用について

費用はまったくかかりません。

6 実施結果の使われ方について

研究結果は専門の学会、学術誌などで発表して臨床医学の進歩に寄与します。

7 実施結果の報告について

ご希望の方には、研究の結果をお知らせします。

8 プライバシーの保護について

個人情報の保護には細心の注意を払います。あなたの氏名が、国立精神・神経センター武蔵病院の外にもれることはありません。サンプルは、個人番号を付与して匿名化した上で、研究担当者が共同研究機関である徳島大学医学部栄養生理学講座に送り、そこで厳重に保管されます。日立ライフサイエンスセンターで実際の解析を行いますが、その際には番号のみを通知します。

9 実施協力に同意しないことによる不利益について

研究に協力するか否かは、患者さまの自由な意思で決めることができます。協力していただけない場合でも何ら不利益はなく、治療に差し支えることはありません。

また、この研究への協力を中止したい場合には、いつでも中止することができます。協力後も申し出があれば、その時点であなたの結果は破棄します。協力を撤回しても何ら不利益はなく、治療に差し支えることはありません。

# 「DNAチップを用いたうつ病の診断と病態解析」の同意文書

国立精神 神経センター武蔵病院

院長 埜中征哉 殿

わたし (氏名) \_\_\_\_\_ (生年月日) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生  
(住所) \_\_\_\_\_ は、「DNAチップを用いたうつ病  
の診断と病態解析」について、説明者 \_\_\_\_\_ から、説明文書にもとづき、

記

## 1 研究目的

うつ病の臨床研究です

## 2 研究内容

DNAチップという方法を用いて、うつ病での遺伝子の読み取られ方(発現プロフィール)の研究を行います

## 3 研究方法

治療の前後 2 回に各 10ml の採血を行い、遺伝子の読み取られ方 (発現プロフィール) を調べます

## 4 危険性ならびに副作用等

通常の採血に伴う多少の痛みがあります

## 5 費用

患者様の費用の負担はありません

## 6 研究結果の使われ方

研究結果は専門の学会、学術誌などで発表して臨床医学の進歩に寄与します

## 7 研究結果の通知

こ希望の方には、研究の結果をお知らせします

## 8 プライハシーの保護

血液の検査を匿名化して行うなど、プライハシーの保護に万全を期します

## 9 研究に参加しないことによる不利益

本研究に参加することに同意しても、それはいつでも撤回できます

研究に参加しなくても、また、同意を撤回しても、治療上いかなる不利益も受けません

について説明を受け、理解しましたので、本研究に被験者として参加することに同意します。

同意年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

署名 (本人) \_\_\_\_\_ 印 (以下、自署であれば印は不要)

私は、上記 \_\_\_\_\_ 様に、本研究の説明文書にもとつき説明を行い、疑問に答えた上で被験者となることの同意を得ました。

説明年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(説明者氏名) \_\_\_\_\_ 印

国立精神・神経センター武蔵病院 診療科 \_\_\_\_\_

## 同意撤回書

国立精神・神経センター武蔵病院  
院長 埜中征哉殿

わたし\_\_\_\_\_は、\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日、「DNAチップを用いたうつ病の診断と病態解析」について同意しましたが、その同意を撤回することにしました。

住 所 \_\_\_\_\_

電話番号 ( )

署 名 (本 人) \_\_\_\_\_ 印

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

\* 同意の撤回は原則として同意書に署名した人が行います。

\* 送付先

〒187-8551

東京都小平市小川東町四丁目1番1号

国立精神・神経センター武蔵病院

埜中征哉 行

様式第2

審査結果通知書

平成16年 2月13日

申請者  
原田 誠一

国立精神 神経センター  
倫理委員会武蔵地区部会



受付番号 15-37

課 題 名	DNAチップを用いたうつ病の診断と病態解析
-------	-----------------------

研究者名	武蔵病院外来部部長 原田 誠一
------	-----------------

上記について、平成16年1月19日の委員会で審査し、下記のとおり判定した。

記

判 定	承 認
	留意点 ①同意書と説明文書の中の「遺伝子の現れ方」を「遺伝子の発現プロフィール」あるいは「読み取られ方（発現プロフィール）」など分かりやすい言葉に訂正する。 ②同意文書と同意撤回文書の宛先を武蔵病院院長宛に訂正する。

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Masahito Tomotake, Takashi Harada, Yasuhito Ishimoto, Tetsuya Tanioka, and Tetsuro Ohmori	Temperament, character and eating attitudes in Jaoanese college women	Psychological Reports	92	1162-1168	2003
Yasuhiro Kaneda, Ichiro Kawamura, Akira Fujii, Tetsuro Ohmori	Repetitive behaviors in chronic schizophrenia using the Japanese version of the elgin behavior rating scale(JEBRS)	Intern J Neuroscience	113	879-890	2003
Ken Yamauchi, Koushi Ohta , Takahide Taniguchi, and Tetsuro Ohmori	Case of social phobia with obsessive compulsive symptom improved by paroxetine in combination with risperidone	General Hospital Psychiatry		in press	2004
原田誠一、原田雅典、佐藤博俊、松本武典、小堀 修	統合失調症の社会機能と認知療法	精神科治療学	18(10)	1151-1156	2003
原田誠一、岡崎祐士	統合失調症の早期発見・早期治療	精神科	2(4)	303-310	2003

原田誠一	「正体不明の声」への コーピングをどう援 助するか	精神看護	7(2)	16-22	2004
原田誠一	当事者が力を発揮す るための援助のコツ ー共感・受容と情報提 供を中心にー	精神科臨床サ ービス	4(1)	60-64	2004
原田誠一	統合失調症(精神分裂 病)と周縁疾患	別冊日本臨床 領域別症候群 シリーズ	38	71-75	2003